

2022 年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業・ふりかえり会

主催：(公財)横浜市国際交流協会 (YOKE)

2022 年度事業が終了し、新たな年度が始まるにあたり、担当事業を超えた関係者が一堂に会する「ふりかえり会」を行いました。

地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業の各事業を行うにあたっては、企画・運営から多くの方々のご協力をいただいています。たとえば、有識者会議「横浜市地域日本語教育総合調整会議」の委員、連携事業における連携団体、シンポジウムのパネリスト、研修会の講師、日本語教室での日本語教師、広報媒体等での翻訳者などです。まさに、横浜市域の地域日本語教育の体制づくりに一緒に取り組んでいるの方々といえます。YOKEスタッフからこれらのみなさまへ感謝を伝え、ともに本事業をふりかえり、今後の体制づくりにつなげる機会とすることを目標としました。

当日は、2022年度の取組から20講座について、関わった人がそれぞれふりかえり、思いやメッセージを直接うかがうことができました。「普段なかなかお目にかかれぬみなさまと対面でお話しする事ができ、とても有意義な時間でした」「担当された方から直接お話を聞いたのは良かったです」など、人とのつながりが得られた会となりました。ご参加ありがとうございました。



当日のゴール

- ふりかえりや話し合いを通じて、さまざまな気づきを得る。
- 横浜の地域日本語教育を支える人たちの、輪が広がる。
- これからの取組みへの、はずみとなる。

内容

- ・事業担当者・協力者による2022年度各事業のふりかえり
- ・参加者同士の情報・意見交換

日時

2023年5月24日（水）14:00-17:00

場所

横浜国際協力センター共用会議室

対象

2022 年度本事業の関係者
(各事業・講座における企画・運営者、講師、協力者など)

参加者数

33人



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

2022 年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業・ふりかえり会

情報冊子「**にほんごコミュニケーション**」
第12号（2023年7月5日号）で紹介しています。



←ここから見る
ことができます

<https://yokohama-nihongo.com/magazine>

「2022 年度事業 ふりかえり会」から展望する

地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 横浜×日本語×多文化共生

私たちは、横浜の地域特性を踏まえた日本語学習支援を通じて、多文化共生のまちづくりを進めています。2023年5月に行われた「ふりかえり会」の様子を紹介しながら、今後の展望を考えていきます。

「2022 年度事業ふりかえり会」
2023年5月24日 (水) 14:00-17:00
横浜国際交流センターにて

第1部：2022 年度をふりかえる
報告者による各事業の報告と、協力者からのコメント(15 事業)

第2部：おしゃべりタイム
小グループに分かれての情報交換、意見交換会

参加者 34 名 (横浜や日本語教育の講師、ボランティア企業家メンバー、参加者協会の行政関係者など)

子どもから大人まで、
切れ目のない支援を目指して。

これまでをふりかえり、新たな可能性を見出す会を開催

「2022 年度事業ふりかえり会」の様子

「2022 年度事業ふりかえり会」の様子

「2022 年度事業ふりかえり会」の様子

「2022 年度事業ふりかえり会」から展望する

「2022 年度事業ふりかえり会」の様子

「2022 年度事業ふりかえり会」の様子

「2022 年度事業ふりかえり会」の様子

「2022 年度事業ふりかえり会」の様子

「2022 年度事業ふりかえり会」の様子

横浜地域日本語教育総合調整会議

事務局 PICK UP!

事業の方向性について
委員 金子美津子さん

自身の手育や環境が育む活動の重要性を感じ、市民の参加への経済的負担を減らしました。

委員 安谷由緒さん

日本語教育や地域活動の両立方向について話し合いました。そこで得たノウハウも、必要に応じていきたいと思います。

協賛を行う関係者会議
委員・2022 年度プログラムアドバイザー 田嶋 立土さん

協賛事業が増えている。バナーを減らします。外国につながる方を念頭に、いる人二歳の人が受け入れられ、それぞれの強みを活かせる場を増やしていきたいです。そのための体制づくりが重要です。

日本語学習(支援)を通して多文化共生を進めていく

外国の人に、情報を届けるには?
事務局 PICK UP!

国・地域ごとに存在するコミュニティを捉え、ホームページに載せる人と対応可能な人と、情報が届くようにする必要があります。ただ、ホームページによって届くべき情報の質が異なる傾向にあるので、まずはそこから把握する必要があります。日本語学習支援の活動も例外ではありません。それぞれの活動に合った方法で届けることが、より一歩前進に繋がります。

協賛調整アシスタント タクワン・セナワット(右)
横浜国際交流センター(左)

外国の方向け日本語ボランティア入門講座
事務局 PICK UP!

支援をしたい外国の方へ 地域日本語コーディネーター 岩倉 裕子(右)

ボランティア入門講座 講師 佐藤英子さん

受講者の皆さんは、地域性や自身の強みを活かし、自身の強みを活かせる活動を探しています。受講者の「やってみたい」を重視し、サポートをします。

2023 年度事業の概要	
<p>柱1 体制づくり推進のための組織の整備</p> <p>柱2 市内における地域日本語教育の推進、連携</p> <p>柱3 研修 地域日本語教育・交流</p> <p>取組1 総合調整会議</p> <p>取組2 コーディネーター</p> <p>取組3 地域内における講師の育成取組</p> <p>取組4 市内における講師の育成取組</p> <p>取組11 企業研修</p> <p>取組12 企業研修</p> <p>取組13 企業研修</p> <p>取組14 企業研修</p>	<p>2023 年度も、弊会主催・協賛のふりかえり会を開催し、10 の取組により事業を両立します。今後、皆さんとのつながりを大切に、外国人と日本人が共に暮らす社会づくりを進めていきます。</p> <p>2023 年度事業報告書(2023 年7月5日号)に掲載しています。</p>



よこはま日本語学習支援センター
Yokohama NIHONGO Support Center
<https://yokohama-nihongo.com>
運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!

